


宮内科研究会議 2017.2.5



いまやっていること
今後、やりたいこと

九州大学 基幹教育院
安田章人

いまやっていること

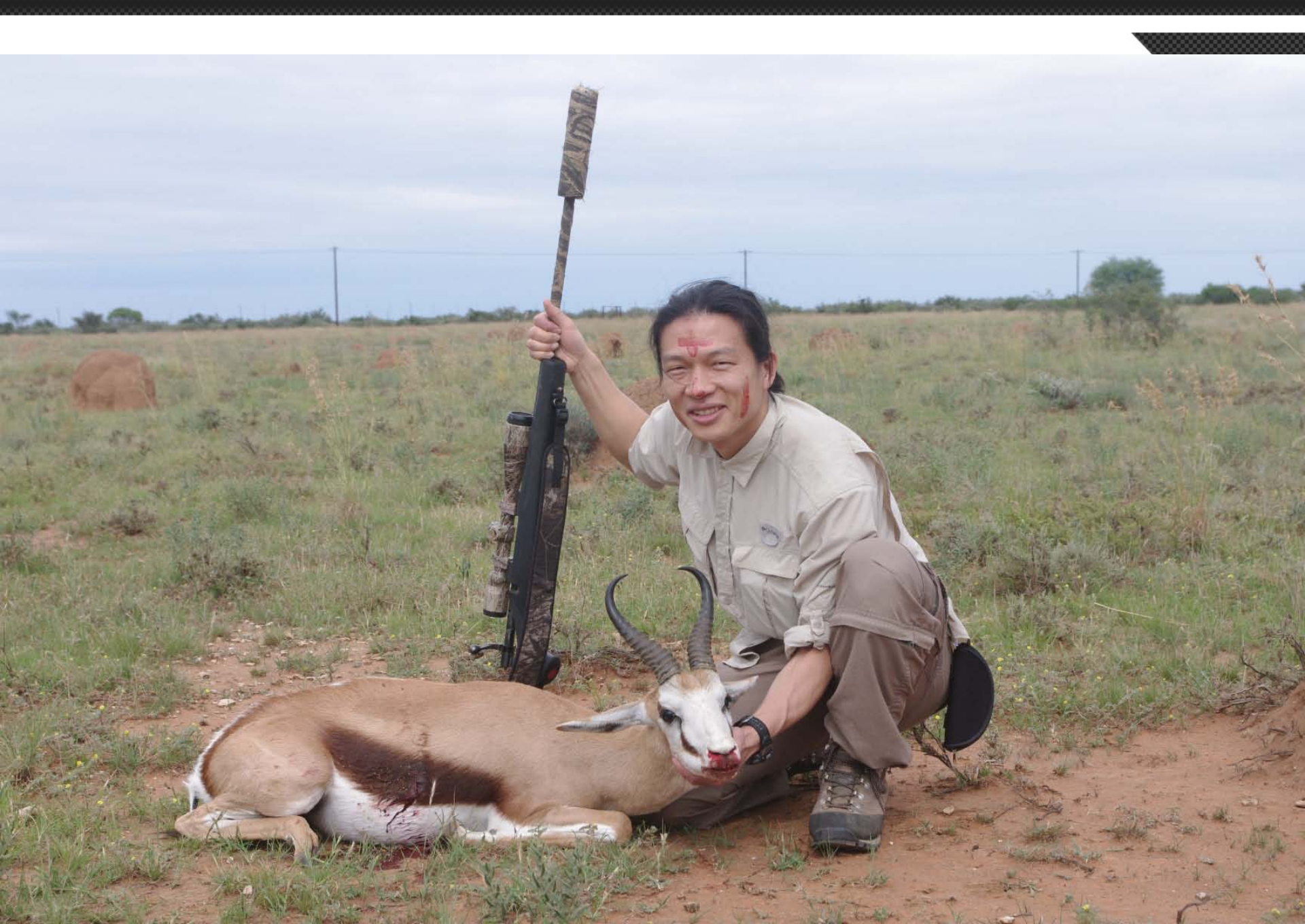
●観光と狩猟

- ・南アフリカ共和国の「野生動物牧場」におけるスポーツハンティング











For best Genetics!

XTREME

GAME AUCTION

Next Auction at BONA BONA

082 773 0323

27°1'12"S and 26°13'45"E



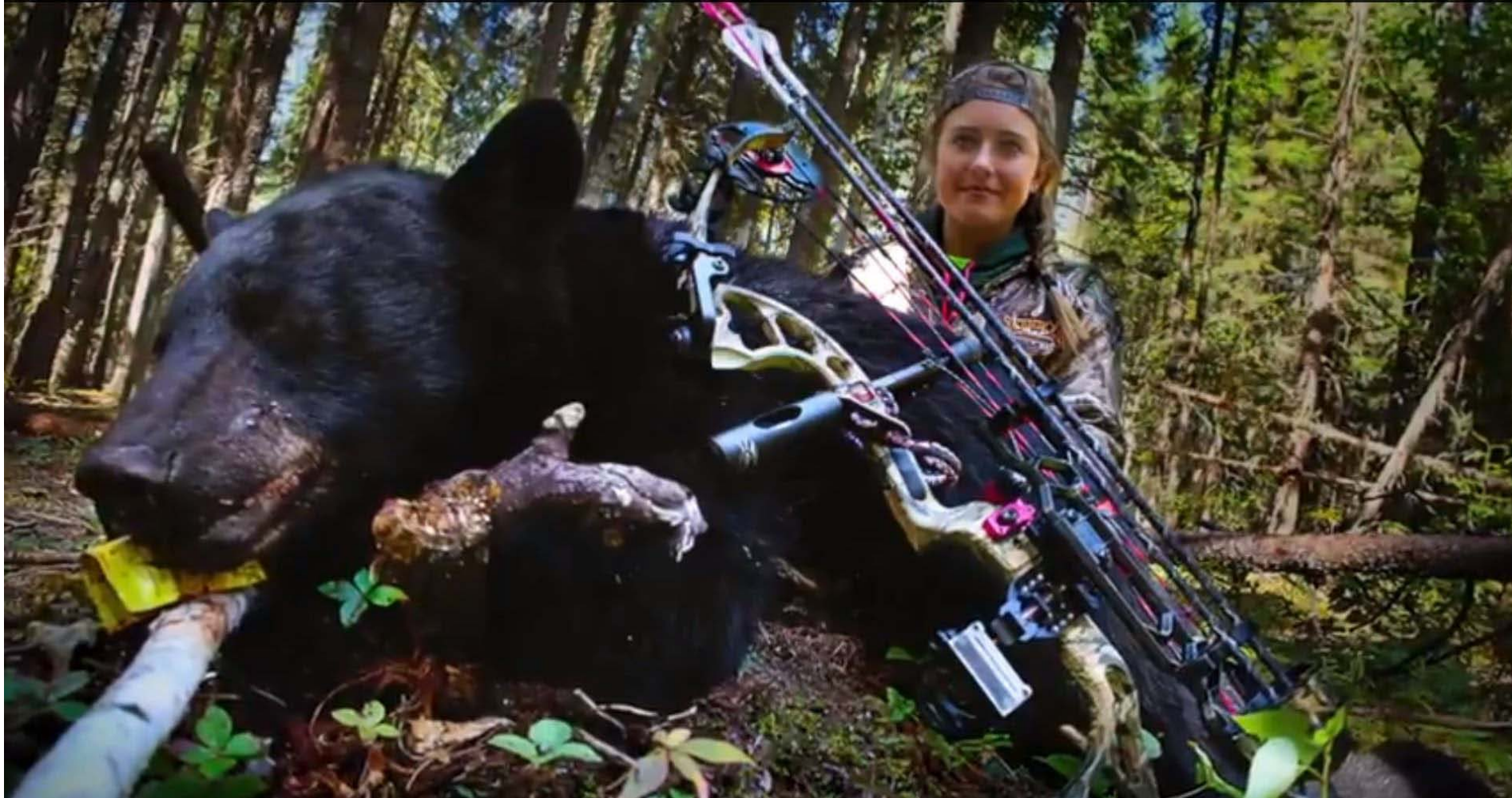
いまやっていること

●観光と狩猟

- ・南アフリカ共和国の「野生動物牧場」におけるスポーツハンティング
- ・アメリカ合衆国の「狩猟区」におけるボウハンティング



<http://morningmoss.com/wp-content/uploads/2015/04/bow3-625x701.jpg>



<https://i.ytimg.com/vi/IWTsTiIGjN0/maxresdefault.jpg>

いまやっていること

●観光と狩猟

- ・南アフリカ共和国の「野生動物牧場」におけるスポーツハンティング
- ・アメリカ合衆国の「狩猟区」におけるボウハンティング

→「野生」とはなにか

狩猟の倫理

観光と地域社会の関係

いまやっていること

● 獣害問題

- ・ 九大におけるイノシシ問題





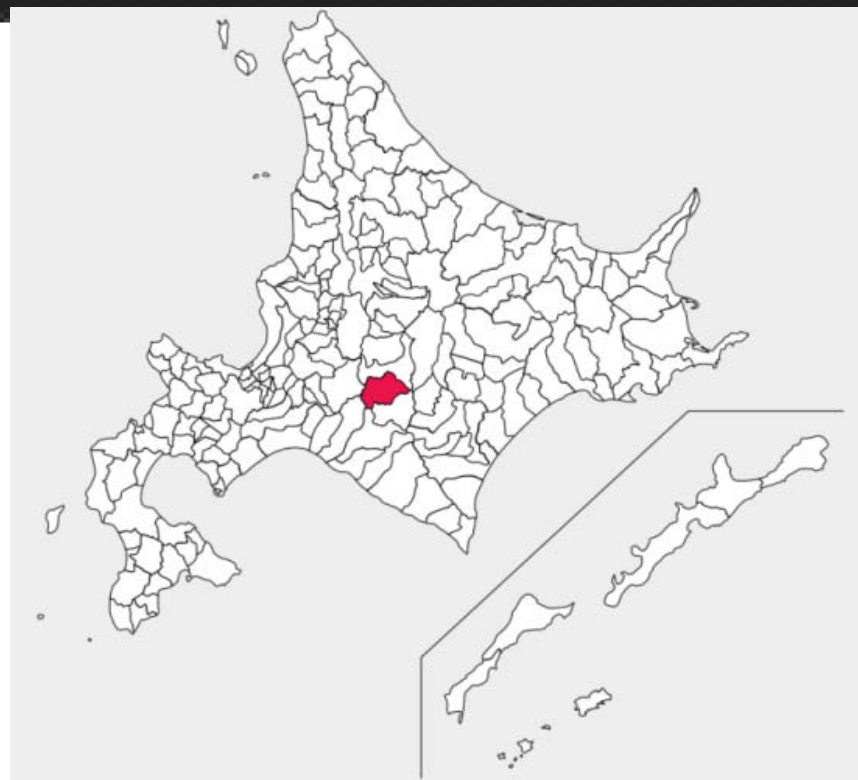
いまやっていること

● 獣害問題

- ・ 九大におけるイノシシ問題
- ・ 北海道におけるエゾシカ問題

占冠村

- 村の総面積：約571km²
 - うち、94%が森林
 - うち、90%が国有林
- 709世帯 人口：1211人
(国勢調査 2015)
- 基幹産業：酪農と観光
 - 東部に大型リゾート施設
- 2014年：村全体を猟区に設定
 - 道内2例目。道内初は、2004年に西興部村



占冠村の位置

事前調査：占冠村に猟区を設定する可能性

1. 十分な生息数
2. リゾートを含めた様々な宿泊施設
3. アクセスのよさ
4. 解体処理場がある(2012年完成)
5. 猟友会の規模が小さく、猟区に対する関心理解が高い
6. 村としてエゾシカ対策に積極的に取り組んでおり、捕獲中心による対策への意欲がある

まとめ

当局と地域住民の思惑は、

「1. 安全な狩猟の実施」では、一致

「2. 個体数の管理と被害の抑制」と

「3. 資源活用と地域経済への好影響」では、ズレ

当局は住民が期待する被害補償や被害抑制を重視せず

一部住民は、新しい観光開発として懸念

いまやっていること

● 獣害問題

- ・ 九大におけるイノシシ問題

- ・ 北海道におけるエゾシカ問題

→ 獣害問題をどう解決するか

そもそも獣害問題とは、なにか

対処療法的でしかない獣害対策

「野生動物管理」＝「堅い管理、制度」を主体に

- 被害を減らす
- 狩猟者を増やす
- 捕獲頭数を増やす
- 食べる

単に「増えているので、減らそう」としているだけ

そもそも「獣害問題」の原因は？

1. 有害鳥獣が増えた
2. 人々が獣害問題として深刻にとらえるようになった

本来身近な「野生動物」＝「奥山の生き物」という意識
社会の中で「獣害問題」として発現するプロセスへの注目不足

地域にとって「『野生動物管理』とはなにか」を 咀嚼する実践的な「場」を創造

富田涼都・安田章人 2014 「地域社会にとっての「資源」とは何か？ 生態系のアンダーユースと自然資源管理－地域社会の文脈への「埋め戻し」試論」 Wildlife Forum第19巻1号 「野生生物と社会」学会 pp.18-20.

なぜか？

なんのための「野生動物管理」なのか？

誰がメリットを得て、デメリットを負うのか？

例) ジビエ、猟区

咀嚼する場がなければ、ガバナンスは硬直化する

ウエからのご説明でもなく、ウエによる「場」の設定でもない

必然的にボトムアップが重視される

「シカだけじゃない」

「生き方」への注目

「生き方」への注目

「シカだけじゃない」

→「地域資源」への注目

例) スローフードしむかつぷ

落差工ちゃん、近自然セミナー、小水力、
山菜市、聞き書き集



「生き方」への注目

「シカだけじゃない」

→「地域資源」への注目

例) スローフードしむかつぷ

落差工ちゃん、近自然セミナー、小水力、
山菜市、聞き書き集
獣、山、川を、地域の歴史・文化で練り上げた
資源の総体としてとらえる

資源の総体、「地域資源」のなかでどう、幸せに生きるか？

「人口1000人ちょっとの村で、なんでも実験しやすい」(SF代表)

→「生き方」への注目

この科研でなにをしたいか？

●地域社会における咀嚼

野生動物管理に基づいた「堅い管理、制度」と

柔軟にその地域で生きようとしている人々の活動との
接合点に注目

●「生き方」への注目

「あたたかい社会」を念頭にした、現地調査